

研究機関名： 横浜国立大学競争的研究費の直接経費からの研究代表者(PI)の person 費支出に係る  
活用実績報告書 (令和7年度)

## 1. 実施状況

①事業名	②直接経費から 人件費を支出し た、所属 PI の人 数 (人)	③所属する PI につ いて、直接経費から 支出した人件費の総 額 (円)	④所属する PI につ いて、直接経費から人件 費を支出したことによ り確保した財源の総額 (円)
<b>【科学振興機構】</b>			
戦略的創造研究推進事業	8	6,660,000	6,660,000
ムーンショット型研究開 発事業	2	7,200,000	7,200,000
経済安全保障重要技術育 成プログラム	1	760,000	760,000
創発的研究支援事業	1	660,000	660,000
<b>【総務省】</b>			
ICT 重点技術の研究開発 プロジェクト	1	2,040,000	2,040,000
<b>【NEDO】</b>			
NEDO 官民による若手研 究者発掘支援事業	1	310,000	310,000
経済安全保障重要技術育 成プログラム	1	2,300,000	2,300,000
合計	15	19,930,000	19,930,000

## 2. 確保した財源の使途、具体的な活用内容、効果等

本学では内規により、PI 人件費総額により確保した財源の活用を以下のとおり定めている。

- (1) 研究代表者へのインセンティブ付与（給与面での待遇改善又は研究費） 50%
- (2) 大学全体の研究力強化に係る施策 50%

研究者に対する給与水準の向上のために使用し、研究者の処遇改善やモチベーションの向上に寄与した。

また、大学全体の研究力強化に係る施策として、研究者が研究活動に専念できる環境を整備するため、サポート体制を充実させた。

※ 他の経費と一体的に活用することも可能です。その場合はどのような経費と併せて何の取組に活用したか分かるように記載してください。

※ 必要に応じて参考資料を添付してください。

## 3. 策定した活用方針や活用実績を公表している研究機関のホームページ等の URL を記載してください。なお、各研究機関における研究力向上に向けた実施事例については、好事例として政府のホームページでも公表させていただく場合があります。

<https://www.ripo.ynu.ac.jp/organization/pi>